

WITH YOU



イクメン・カジダン
宣言しました！
週末に、食事を作ります。
子どもと遊ぶ時間を
増やします。

パパがつくる基本のクッキング&家族にモテるパパになる秘訣
平成27年2月1日に小中野公民館で
平成26年度青森県委託事業カジダン・イクメン育成事業を
県男女共同参画センター指定管理者 ASTAC・G が開催しました。

特集

P2~4

女子力を発揮しよう！

自分らしく輝いている女性3人にインタビュー
女子力を活かした職場づくり&働き方

P5 **自分実現、私のキャリアアップ！**

4人の女性の体験談

P6 **報告！三八男女共同参画まつり in 八戸**

P7 **地域に関わりを持とう**

P8 **イラストでわかる！男女共同参画**



特集

女子力を発揮しよう!



最近、女性のキャリアや社会貢献への意識が高まっています。自分らしく輝いて活躍している女性たち3人に集まってもらい、インタビューしました。



Q 起業や活動のきっかけは何ですか？

雑貨やハンドメイドのものに囲まれた空間がとても好きで、こういうお店が欲しいという思いとイメージをカタチにして始めました。現在は、自宅での商品づくりとネット販売を中心に行っていて、自分の都合に合わせて仕事ができるので、子どもと一緒にいる時間が多くとれます。毎朝4時に起床し、子どもが寝た後に仕事をするなど体力的には大変ですが、とても充実しています。



出産ギフトのおむつケーキやオーガニック素材の布ナプキンを制作して、主にネット販売をしています。

男性がいるから、女子力を活かせるよね。

ふじもと

藤本 さきこさん (33歳)

- ・合同会社SKプランニング代表
- ・布ナプキンと出産ギフトの
プチラドゥ
petite la deux 経営



なんでも素敵と思える感性を活かしたい!



さとう あやこ
佐藤 文子さん (36歳)

- ・青森県親子ふれあい
読書アドバイザー
- ・JPIC 読み聞かせサポーター



地域での読み聞かせの活動や、パン作り教室などを開いています。教室に参加される方もどんどん増え、欲しいという方にはパンを焼いて販売しています。

特集 女子力を発揮しよう！

エステサロンに勤務していた当時、人生は一度きり、チャレンジしたいという強い思いと、いずれは自分の店を持ちたいという夢がありました。また、勤務している時は制限が多かった為、もっとお客様に満足できるサービスを提供したい、最初から最後までおもてなしをしたいという思いで独立を決意しました。

お客様にはゆったりとした時間を過ごしていただけるよう、また、より良いサービスを提供していけるよう心がけています。女子力アップの力になりたいと考えています。



本場で学んだハワイアンロミロミのマッサージ店を平成26年8月に開業しました。

女性であることを楽しむことが大事。



いけだ さいこ
池田 彩子さん (30歳)
ハワイアンロミロミヒーリング
リレハウス オーナーセラピスト

(佐藤)

現在、親子でも参加出来る「絵本の読書会」を毎月開催しています。青森市からの参加者もあり、今後は、他市町村でもやってみたいです。親子で本と触れ合える場や楽しい絵本の空間作りをもっと続けて行きたいです。



Q 今後の目標やビジョンは？

(藤本)

私は、シングルマザーで3人の子育てをしながら仕事をしていますが、どちらも「楽しく幸せに」を心がけています。いくら頑張っても自分が満たされなければ何もかも台無しになるので、「楽しく幸せに」仕事も子育ても両立していきたいと思っています。

(池田)

八戸市内のエステサロンは県内の他の地域よりも多いほうですが、まだまだエステやマッサージは敷居が高いと敬遠されることが多いです。もっとキレイになること、癒されることを楽しむ女性が増えて欲しいと思います。そのためにも2年後の事業拡大が目標です。

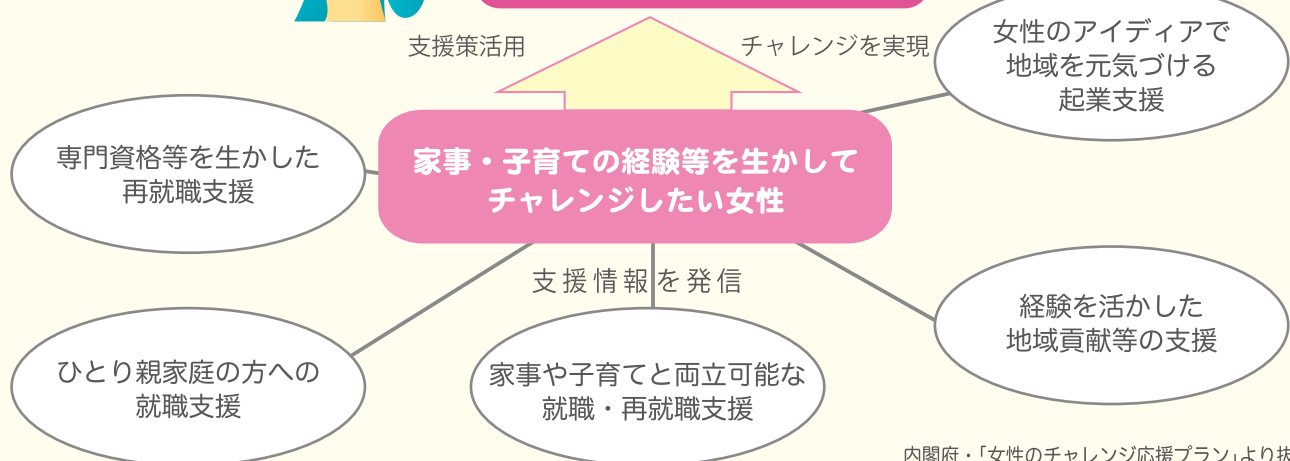
内閣府では女性のチャレンジを応援するため、様々な支援を行う計画があります



女性のチャレンジ応援プラン

「チャレンジしたい」という希望を持つ女性に対して、身近で挑戦しやすい支援策を広く情報発信

すべての女性が輝く社会へ！



内閣府・「女性のチャレンジ応援プラン」より抜粋

女子力を活かした職場づくり & 働き方

女性ならではの コミュニケーション力を！



こんどう めぐみ
近藤 恵さん
(36歳)

佐川急便株式会社
八戸営業所
カスタマーサービス課
主任

当社では、女性活躍推進に向け、各事業所で働く女性の声を拾い、課題抽出、課題解決の取り組みを行う「わくわくウイメンズプロジェクト」を実施しています。私は、その北東北3県のリーダーを一年間務めました。

そこで、女性社員は他の社員と会話する、また、相談する機会がとて少ないことが分かりました。特に女性ドライバーは短時間労働が多いことから、仕事の改善点に気づいても上司や先輩に言えずにそのままになる一方で、男性社員は女性社員の意見を取り入れたいと考えていました。現在は、定期的にミーティングを行い、改善に取り組んでいます。

女性ドライバーは、細かいところによく気が利くと好評です。特に、在宅の女性のお客様には、同性のドライバーの方が安心でき、気兼ねしなくてよいと業績がアップしています。女性の視点を取り入れ、サービスの質を高めていきたいです。



私だからできる！

主婦感覚を活かすビジネス

出産後、コンビニエンスストアなど短時間の仕事をかけ持ちしていました。その経験から一対一の仕事や買い物代行など何でも行う便利屋の仕事がひらめき、起業しました。

買い物代行は、注文を聞くだけでなく、その日のお買い得品といった主婦力を活かした提案をすることもあり、私の買い物情報と商品選びがお客様に好評です。

また、話し相手も仕事の一つです。お客様は、一人暮らしの高齢の女性が多く、年の差はありますが、お互い主婦であるという共通点から、興味のあある話題や共感できる部分が多く、女子トークで盛り上がります。

今後は私だから気づくこと、できることに磨きをかけていこうと思っています。



かみやま かつら
上山 桂さん
(35歳)

かっちゃん便利屋 代表
かっちゃんセラピスト
八戸市女性チャレンジ
講座修了生



女性だから気付くこと 感じることを大事にしたいです



ふじさき ひろえ
藤崎 弘恵さん
(46歳)

託児所にゆあ〜じゅ 代表
介護福祉士

以前、介護士として児童福祉施設で働いていた頃、ダウン症の子を持つお母さんが「ちよつとでも子どもを預かってもらえると助かるのかな」と言っていたことがずっと気にかかっていました。それがきっかけとなり、昨年、ダウン症の子どもも預かることができる託児所をオープンしました。ここでは、3人の息子たちも子どもたちみんなのお兄さん役として協力しており、それが人気の一つとなっています。



また、託児だけでなく、悩み相談や母親対象のリンパエステも行っています。子どもを迎えに来た時間を利用して、会話をしながらの施術は、とても癒されるようです。

現在は、よりサポートの質を高めるため、発達障害コミュニケーション指導員の資格取得を目指し、猛勉強中です。同じ女性だから、母親だから気がつくこと、して欲しいことを大事にしていきたいと思っています。



よしだ きみこ
吉田 貴美子さん (35歳)
カイロプラクティック貴楽々 院長

生涯やりたい仕事との出会い

30歳の時、シングルマザーで資格も無く、不健康な私は生きていくことに不安を抱えていました。そんな時、カイロプラクティックに出会い、人に喜んでもらえ自分も健康になれること、定年も無く生涯学習できるという魅力に惹かれ、猛勉強し、今では、カイロプラクティックをする人材を育成するまでになりました。がむしゃらに走った5年間は、イキイキとしていました。八戸ではまだ少ない女性整体師ですが、他の人とは違った細やかなサービスを提供していきたいと思っています。

自分実現、私のキャリアアップ！

4人の女性からキャリアアップの体験を伺いました。



きむら
木村 まゆみさん (39歳)
ハンドメイドと雑貨のお店 charm 経営
あみもの教室・手芸教室 作家名「ハイジ」

自分の好きなことを追求しました

飲食店で働き、店長を務める傍ら、経営学を学んでいました。その経験を活かし、洋服と雑貨のリサイクルショップを開きました。リサイクルショップでは、自分の手作りの作品も販売していました。そうしていく中で、手作りする楽しさをもっとたくさんの人に知ってもらいたいと思うようになり、今では、ハンドメイドと雑貨の販売の他、あみもの教室と手芸教室を開いています。まだまだ勉強中ですが、日々、精進していきたいと思っています。



みうら なお
三浦 直さん (55歳)
おとうふと豆乳のスイーツ naomama 経営

友人の一言から趣味が仕事に

約20年間、損害保険会社のパート事務員として働きながら、趣味で子どものおやつとして豆腐を使ったケーキを作っていました。ある時、友人から「病気の友達が食事制限で市販のケーキが食べられない。好きなケーキを食べさせてあげたい。」と相談され、力になりたいと思いました。試行錯誤の結果、植物性のみの材料と米粉のとうふケーキが完成。今では豆乳ムースやプリンなど種類も味も増え、各種イベントやインターネットで販売しています。きっかけを与えてくれた友人に感謝しています。



みと しの
水戸 志乃さん (39歳)
体質改善アロマリンパサロン ローズローズ経営

パートで働きながら資格を取得しました

出産後、しばらく専業主婦で、その後、パート勤務をしました。友人の勧めをきっかけに趣味のアロマセラピーとマッサージを本格的に学ぼうと一念発起。家事、育児、仕事をしながら勉強し、資格を取得、ついに、体質改善したい女性の為のアロマリンパサロンをオープンしました。苦労はありますが、やりがいも多く、家族や友人、お客様に支えられ、少しずつ夢を実現している最中です。

- 女性チャレンジ講座 市民連携推進課 43-9217
 - 八戸地域職業訓練センター研修講座 八戸地域職業訓練センター 46-3360
 - フロントティア八戸職業訓練助成金 雇用支援対策課 43-9038
 - 母子家庭等自立支援教育訓練給付金 こども家庭課 43-9342
 - アントレプレナー情報ステーション事業 商工政策課 43-9242
- 八戸市のキャリアアップ支援事業 問合せ先 (平成26年度)

講演会

「男と女の暮らし充実物語 仕事も家事も子育ても」

～見つけよう あなた流のワーク・ライフ・バランス～

男性は生きづらい

自殺者は3万人を超え、その70%以上は男性。その原因の一つに、男性は生き方の幅が狭く、ワーク・ライフ・バランスの悪さにより追い詰められることが考えられます。



こざき やすひろ

小崎 恭弘さん

大阪教育大学准教授

3児のパパ。尼崎市初の男性保育士として勤務していた時、「ママだけが育児休暇をとるのはズルい！」と3度の育児休業を取得。著書に「育休父さんの子育て日記」などがある。



父親の育児は5人を幸せにする

子どもや母親はもちろん、父親自身も子育てを楽しむ喜びや生きがいを感じることができるとともに、仕事の効率化、少子化対策など企業や社会も幸せにします。

自分の人生の主人公は自分

幸せモデルが不在の現代社会では、自分の人生を自分で決める必要があります。社会の変化に合わせた自分流の多様な生き方を！

参加者の感想

大事なことを考えさせられた。

お話がとても分かりやすく、楽しかったです。もっと沢山の方に聞かせたかったなあと思いました。

ワークショップ「介護は誰の役目？」



三八地域男女共同参画ネットワーク さんばちパレット

三八地域の15の市民団体と個人により構成。相互の連携と友好を深め、活動をさらに発展、活性化することを目的としています。平成26年4月に発足したばかり。今後の活躍が期待されます。



ビデオ上映
「ハンサムに生きる八戸の女性たち」



おやじバンド
「ベンチャーズスペシャルライブ」



キッズコーナー
エプロンシアター

報告!

三八男女共同参画まつりin八戸

平成26年11月9日(日)、八戸市福祉公民館にて、三八地域男女共同参画ネットワーク「さんばちパレット」と三八地域の市町村、県男女共同参画センターの主催で開催しました。

シニア世代の男女共同参画

地域に関わりを持とう

定年退職後、男性は家庭や地域で孤立化することが多いといわれています。そこで、男性の地域活動について、インタビューしました。



たかはし よしひさ
高橋 芳久さん
八戸市立大館公民館 館長

男性の地域参加は、どのようにすると進むと思いますか。

男性 の意識の切り替えが必要
です。地域は肩書きよりも経験や知識が活かされる場です。まず、身近な町内の催事などの手伝いやボランティア活動など何でもいなので、参加してみましよう。興味の湧くものや、経験を活かせるものがきつと見つかります。仲間頼りにされ、地域の人々に感謝されることが、生きがいにつながります。

地域

はいろんな人材を望んでおり、必要としていきます。男性が若いころから趣味にもつ囲碁や将棋、スポーツなどのサークルや地域全体の大きなイベントがあると男性は参加しやすく力を発揮できます。

大館地区は、新田城まつりがあり、シニア世代を中心に運営しています。町内会長等をリーダーとし、各部門、担当者ごとに役割があり、とても力を出しやすい体制にあります。地域活動に参加しやすい環境とやりがいを見つめることが、男性の参加を推進すると思います。



新田城まつり

八戸市立白銀公民館・サークル

「男の料理」

主な活動

- ・白銀伝統の盆踊り「おしまこ」の復活と継承。
- ・「おしまこ」を継承している八太郎地区やむつ市の団体との交流。
- ・現在会員 34 名。女性会員もいる。



まゆ玉づくり

「男の料理」の会員に聞きました
活発な活動の理由は何ですか。

公民館

に用事があつて来た男性を誘ったり、奥さんから旦那さんに声をかけてもらうなどして、男性の参加を促しています。また、白銀公民館の文化祭への出店やまゆ玉作りなど様々な行事を行うことで白銀公民館では欠かせない存在となり、会員も増え、活動が活発になってきました。今後も、様々なイベントを行うことで、男性が参加しやすいきっかけを多く作り、公民館へ気軽に立ち寄る男性を増やしていきたいです。



白銀おしまこ



湧き水で有名な清水川からの水汲み体験 (小学生対象)

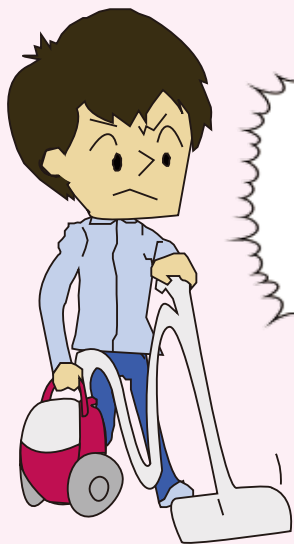


イラストでわかる!

男女共同参画

家庭生活の中で知らず知らずのうちに、家事は女性の仕事という固定観念で会話していませんか？家事も育児もお互い協力し合うことが大切です。

こんな会話していませんか？

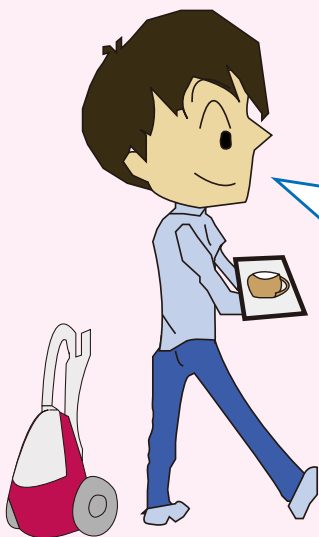


掃除
やって
あげたから!

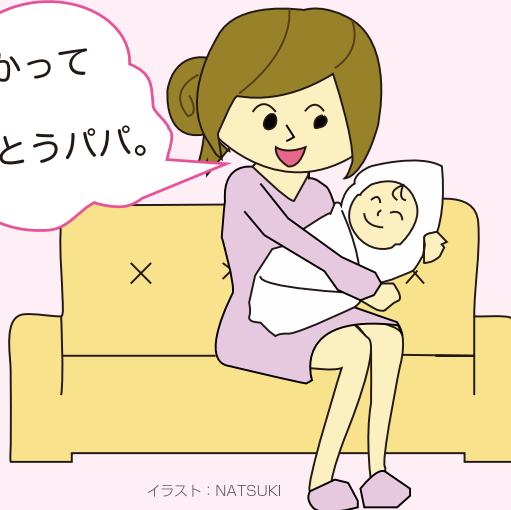


やって
あげたって何!
掃除は、
私の仕事なの?

かける言葉を変えてみましょう!



掃除は、
終わったからね。
ママは、
ゆっくりしてね。



気をつけて
くれて
ありがとうパパ。

イラスト：NATSUKI

男女共同参画社会を考える情報誌「ウイズ・ユー」

WITH YOU

2015 Spring
NO. 34

編集：パパママふぁいと協会
発行：八戸市 〒031-8686
青森県八戸市内丸一丁目1番1号
電話0178-43-9217 (市民連携推進課)

編集スタッフ

パパママふぁいと協会
企画・編集 下町 三三夫
取材・文章 佐々木 優子
イラスト NATSUKI
アドバイザー 平間 恵美
井ノ上 洋一

編集後記

定年退職後、これまで関わりを持たなかった地域活動に参加する男性が、増えてきていることがわかりました。これは、シニアの先輩方が、いろいろ工夫しながら参加しやすい環境づくりを行っているおかげなんです。それでも女性に比べてまだまだ参加者が少ないようですが、シニアの方々が小さい頃に遊んだ、パッタ（メンコ）やおはじきを今の子どもたちに伝えていると聞いて、とても嬉しく思いました。（下町）

※この情報誌は企画から印刷まで外注で8,000部作成し、印刷経費は1部当たり70.2円です。